

記者発表資料

永田クラブ
国土交通記者会 へ貼り出し



平成19年11月19日
内閣府（防災担当）

「過去の災害に学ぶシンポジウム」の開催について

いつでもどこでも起こりうる大災害に対して、家族や地域の「安全・安心」を確保するためには、国民一人ひとりや企業が自ら取り組む「自助」、そしてとなり近所や近くにいる人同士がお互いに助け合う「共助」が大切です。

内閣府では、「日頃からの具体的な備え」を実践する国民運動の輪を広げるため、平成19年12月9日(日)に下記のとおり「過去の災害に学ぶシンポジウム」を開催します。

皆様お誘いの上、多くの方のご参加をお待ちしております。

記

- 名 称 : 過去の災害に学ぶシンポジウム
- 日 時 : 平成19年12月9日(日) 13:00~16:00
- 場 所 : 横浜市開港記念会館 講堂
(神奈川県横浜市中区本町1-6)
- 主 催 : 内閣府、「2007防災フェア in KANAGAWA」開催実行委員会
- 参加者 : どなたでも参加できます(入場無料、先着400名様)
- その他 : 詳細は別添チラシのとおり

取材は随時可能です。なお、TVカメラの撮影位置などは、内閣府担当者にご相談ください。

<問合せ先>

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)付
参事官補佐 渡部、国民運動推進担当主査 岩間
電話: 03-3503-9394(直)

地域の防災力を高めるために 過去の災害に学ぶシンポジウム

地震、津波、台風、洪水など、いつ起こるかわからない災害に備えるため、過去の災害に学び、地域の防災力を高めるためのシンポジウムを開催いたします。皆様、おさそいあわせのうえ、多くの方のご参加をお待ちしております。

2007年12月9日(日) 13:00 から16:00 まで(開場 12:30~)

会場 / 横浜市開港記念会館 講堂 横浜市中区本町1-6 (地図は下記)

入場無料 (先着400名様)

主催 / 内閣府、「2007防災フェア in KANAGAWA」開催実行委員会

● 基調講演

『近年の災害に学ぶ』 伊藤 和明 氏 (元NHK解説委員)

● パネルディスカッション

『地域の防災力をどう高めていくのか ~実践例の報告をもとに』

コーディネーター 吉村 恭二 氏 [「2007防災フェア in KANAGAWA」開催実行委員会 会長]

コメンテーター 伊藤 和明 氏 [元NHK解説委員]

パネリスト 山岡 耕春 氏 [名古屋大学 教授]

(発表順) 今村 文彦 氏 [東北大学 教授]

翠川 三郎 氏 [東京工業大学 教授]

関 正雄 氏 [株式会社損害保険ジャパン CSR・環境推進室長]

井村 美和 氏 [京都大学大学院地球環境学舎 大学院生]

鳥巢 英司 氏 [内閣府参事官(災害予防担当)]

【会場案内】

横浜市開港記念会館

1. 電車でお越しの場合

右図1 関内駅〈南口〉 徒歩約10分
(JR京浜東北線・根岸線)

右図2 関内駅〈出口1〉 徒歩約10分
(横浜市営地下鉄)

右図3 日本大通り駅〈出口1〉 徒歩約1分
(みなとみらい線)

2. バスでお越しの場合

- 本町1丁目 徒歩約1分
- 日本大通り駅・県庁前 徒歩約3分
- 開港記念会館前 徒歩約1分(朝夕のみ運行)

※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮下さい。

